

ご入室の皆様へ

ご参加ありがとうございます。

開始前に、Zoom名を「自治体名・組織名」にご変更ください。

(例：〇〇市××課、株式会社▲▲ 等)

「地域アプローチ」による 少子化対策の推進に向けて 地方公共団体オンライン意見交換会 # 1



2022年8月9日（火） 13:30～15:30 Zoomウェビナー

開会挨拶

内閣官房デジタル田園都市国家構想実現会議事務局

石川内閣参事官

本日の流れ

時間（目安）	内容	登壇者
13:30-13:35	開会挨拶	内閣官房デジタル田園都市国家構 想実現会議事務局
13:35-13:40	趣旨説明	NTTデータ経営研究所
13:40-14:10	第1部「分野別の取組事例 “子育て支援”に関連する取組」 ・ 香川県高松市 ・ 奈良県三宅町 ・ 母子モ株式会社	NTTデータ経営研究所 第1部ゲストスピーカー
14:10-14:40	パネルディスカッション・質疑応答	
14:41-15:05	第2部「「地域アプローチ」による取組の進め方」 ・ 松田茂樹氏（中京大学現代社会学部 教授） ・ 京都府宮津市	NTTデータ経営研究所 第2部ゲストスピーカー
15:05-15:20	パネルディスカッション・質疑応答	
15:20-15:25	事務連絡	NTTデータ経営研究所
15:25（予定）	終了	

意見交換会の趣旨・目的

- 分野横断的な取組（“広義の少子化対策”）の内容や、取組に至るまでの経緯を知る
- “「地域アプローチ」による少子化対策”の考え方や、実践の手法について理解する
- 実際に少子化対策に取り組む上で生じてくる課題への対策のヒントを得る

質問方法

- ご質問がある方は、ZoomのQ & A機能から投稿ください。



※時間の関係上、全ての質問に答えることができない可能性がありますので、予めご了承ください。

第1部 分野別の取組事例

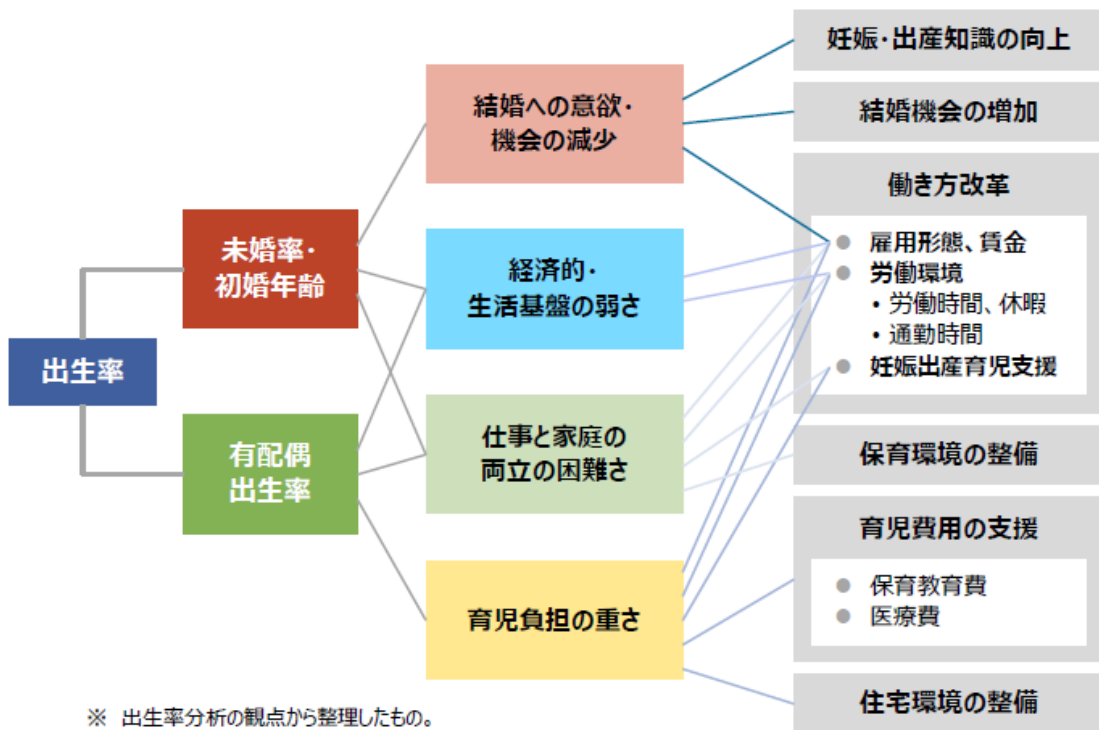
地域の実情に応じた幅広い観点からの少子化対策の重要性

少子化の問題については、就業状況や結婚・出産・子育てに対する経済的負担感など地域ごとに様々な要因が絡み合うことで生じています。

地方自治体で少子化対策の取組を進めていくに当たっては、それぞれの自治体で地域ごとの課題を明確化し、これに応じたオーダーメイド型の取組を分野横断的に展開していくことが重要です。

その際に着目が必要な視点として、例えば結婚・出産や子育ての支援に関する取組のほかに、仕事と育児の両立に関する環境整備や経済的負担の軽減、地域コミュニティとの協力など幅広い分野が挙げられます。

出生率に影響を及ぼす諸要因 - 分析の観点 -



※ 出生率分析の観点から整理したもの。

(出典) 内閣官房「地域アプローチ」による少子化対策の検討の手引き



第1回では、地域の住民や多様な関係者との連携による子育ての支援に関する取組を取り挙げます

第1部 分野別の取組事例

登壇者紹介

① 香川県高松市

地域のNPOとの連携をはじめとする子育て支援に関する幅広い取組をもとに、事業の継続や関係者との連携における工夫について

② 奈良県三宅町

デジタル技術を活用した共助体制の確立、住民ボランティアの参画など、小規模自治体における資源の活用事例について

③ 母子手帳アプリ「母子モ」(株式会社エムティーアイ・母子モ株式会社)

電子母子手帳サービス「母子モ」の具体的なサービス内容や、「母子モ」を利用することで解決につながる地域や子育て世帯における課題について

質問方法

- ご質問がある方は、ZoomのQ & A機能から投稿ください。



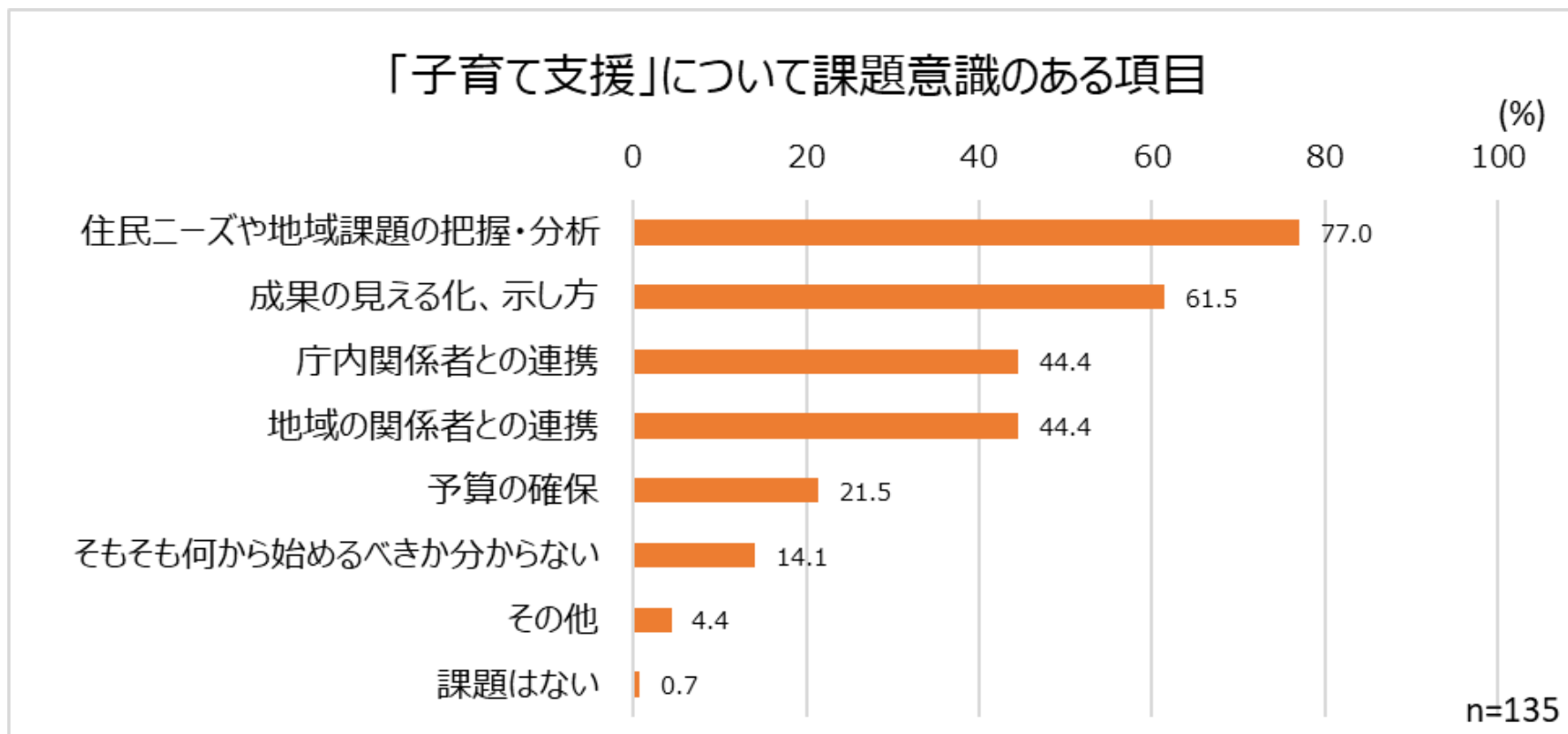
※時間の関係上、全ての質問に答えることができない可能性がありますので、予めご了承ください。

第1部 パネルディスカッション

- ①住民ニーズや地域課題の把握・分析
- ②庁内関係者との連携
- ③地域の関係者との連携
- ④成果の見える化、示し方
- ⑤デジタルツールの活用
- ⑥その他

第1部パネルディスカッション アンケート結果

アンケート回答が多かったテーマを中心に、パネルディスカッションを行います。



第1部パネルディスカッション

①住民ニーズや地域課題の把握・分析

- ✓ 住民ニーズはどのように把握しているのか。
- ✓ 把握したニーズはどのように分析したり、優先順位を付けているのか。

..... アンケートでご回答いただいた内容（抜粋）

- 住民のニーズをどのようにすくいあげたのか
- 住民ニーズの把握の仕方として、どのようなツールを使用されていますか？
- 住民が本当に行ってほしい子育て支援が何で、行政はどのようにそれを把握したら良いのか。
- 地域課題の把握や詳細なデータ分析の方法・見える化するための具体的な手法（組織横断的な体制づくりや活用したデータの種類、外部への委託の有無など）

第1部パネルディスカッション

②庁内関係者との連携

- ✓ 少子化対策や子育て支援施策は、どのような体制で行っているか。
- ✓ 他部署との連携（施策立案や意思決定）をどのように行っているか。
- ✓ デジタルを活用した少子化対策を実施するにあたり、情報担当部署とはどのように連携や分担をしているか。

アンケートでご回答いただいた内容（抜粋）

- 少子化対策における庁内の連携方法をどこが中心となり、どのように行っているのか。
- 社会減対策としての移住施策も含め、庁内での施策立案・意思決定など工夫されていることはありますか？
- 体制の構築にあたり、注意した点や寄せられた意見があればご教授お願いいたします。
- 子育て支援の施策を展開するにあたり、役所内の他部署と具体的に連携した例があれば知りたい。
- 原課と情報担当部署との立ち位置や業務分担はどんな感じですか？

第1部パネルディスカッション

③地域の関係者との連携

- ✓ 「子育てシェア」の導入に向けた町の役割と、検討・導入・定着のプロセス
- ✓ 「子育て支援コーディネーター」の人材像と担う役割
- ✓ 地域主体の子育て支援の活動の例
- ✓ 地域の力の発掘やつながりの持ち方

..... アンケートでご回答いただいた内容（抜粋）

- 各取組事例（特に、「子育てシェア」）について、人口規模が異なる場合でも導入可能な仕組みでしょうか。
- 「子育てシェア」導入までのプロセスや地域の巻き込み方、今の課題等。
- アプリによる効果的な情報発信内容があればご教授お願いいたします。
- 三宅町さんで住民共助の仕組みを構築されていますが、どのようなプロセスで仕組みを構築されましたか。
- 「地域子育てコーディネーター」について、どのような人材を登用されているのか、地域担当制なのか、コーディネーター同士、行政との情報共有や連携はどのように行われているのかなど。
- 事業実施の際の連携について、工夫した点。
- 地域の方が主導的スタンスで、子育て支援を行っている例があれば知りたい。
- 地域の力を発掘する方法とつながりの持ち方について

第1部パネルディスカッション

④成果の見える化、示し方

- ✓ 子育て支援施策の成果を少子化対策としてどのように評価しているのか。
- ✓ 評価にはどのような指標を使っているのか。

アンケートでご回答いただいた内容（抜粋）

- 子育て支援を推進することによる少子化対策の効果・影響
- 子育て支援、特に少子化対策に係る成果指標として、出生数や合計特殊出生率以外で成果を評価できる指標、KPIがあればご教示ください。
- 合計特殊出生率の増加が地域の活性化に繋がるとは思うが、将来その地域の納税者になるのかなど、長期的に地域に根付かせるための具体的なビジョンが思い浮かばない。
- 子育て支援は、細分化するとさまざまなジャンルになるが、施策の費用対効果はどのように捉えて実施されているか
- 子育てシェアアプリ導入に係るコストと成果をどう整理されているのか（利用率、出生数等）

第1部パネルディスカッション

⑤ デジタルツールの活用

- ✓ **子育て支援・母子保健事業でデジタルツールを活用している事例はあるか。**
- ✓ **母子モを活用して、保健師の事務効率化を実施している自治体はあるか。**

アンケートでご回答いただいた内容

- 母子保健のデジタル化が推進されていますが、母子健康手帳アプリの導入の取り組みを行っている自治体が多いように感じます。電子カルテのようにタブレットで相談記録ができるようなシステムはないのでしょうか？
- 当市でも本年度より母子モを導入したが、今のところ行政側では情報伝達ツールとして利用がメインになっているが、母子モを活用し、保健師の事務の効率化につなげたいと考えているが、事務の効率化につなげている事例はあるか？

第1部パネルディスカッション

⑥その他

- ✓ 子育て支援に取り組むには何が求められていて、何から始めればよいのか。一個人の想いはあれど、全体を巻き込み現状を変えていくには、どのような働きかけが有効と考えているか。
- ✓ 行政の立場としては住民に平等にサービスを提供するという考えもあると思うが、どのようにお考えか。
- ✓ 転入してきた子育て世帯へのサポートは行っているか。

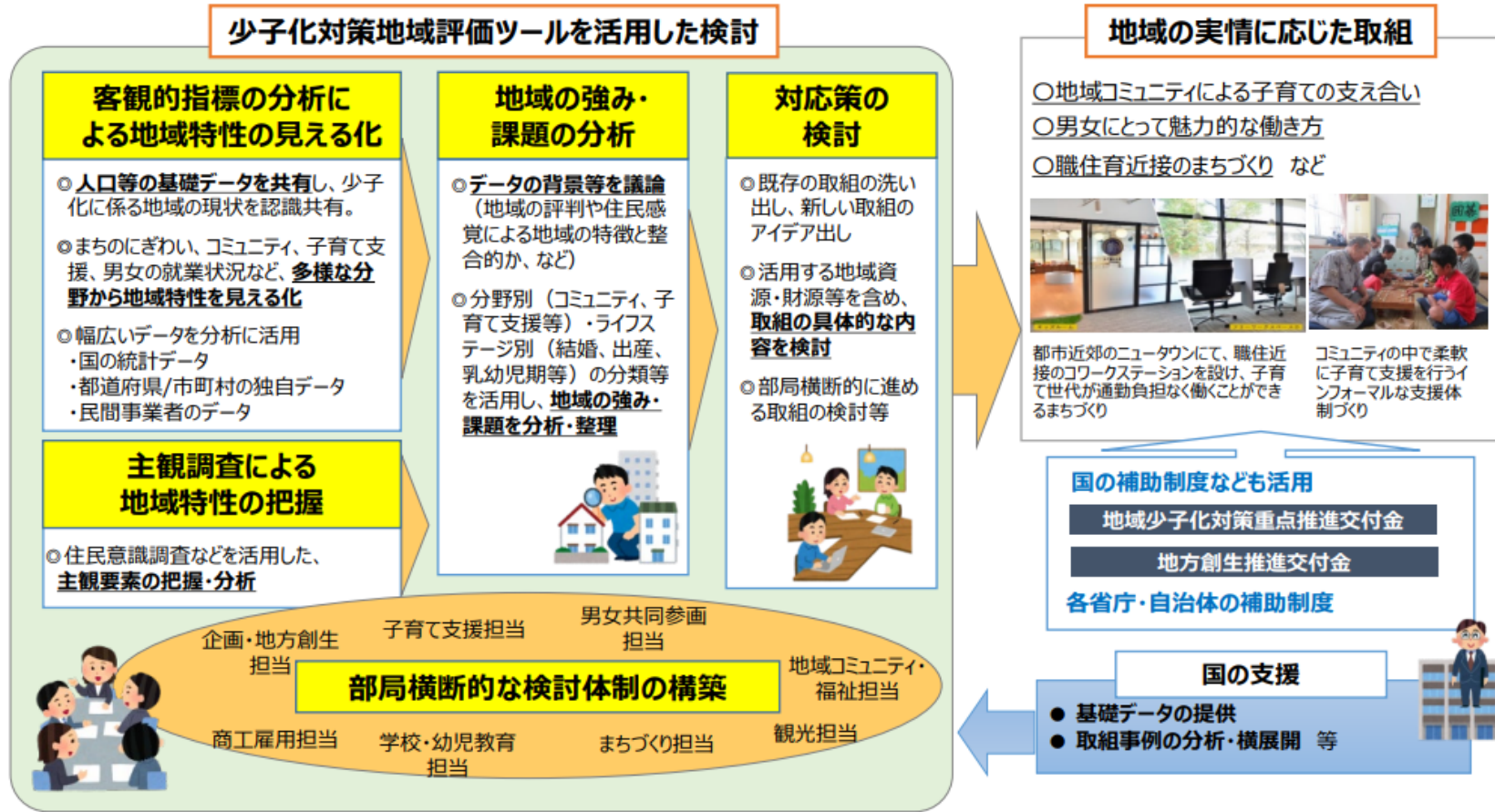
アンケートでご回答いただいた内容（抜粋）

- 子育て支援に取り組むには何が求められていて、何から始めればよいのか。全体を巻き込み現状を変えていくには、どのような働きかけが有効か。
- 貧しい家庭のみでなく、貧富の差に関係なく全ての家庭に平等に支援が行き渡るためにはどうしたらよいか。
- 地域活動等の事業参加率を高くするために工夫していること。

第2部 「地域アプローチ」による取組の進め方

「地域アプローチ」による少子化対策とは

少子化については、就業状況や結婚・出産・子育てに対する経済的負担感、子育てと仕事の両立のしにくさなど様々な要因が複雑に絡み合っており、これらの要因は地域によって異なっているため、各地方公共団体が、地域ごとの課題を明確化し、それに応じたオーダーメイド型の取組を分野横断的に展開する「地域アプローチ」による少子化対策を推進することが重要です。



(出典) 「少子化対策地域評価ツール」の活用等を通じた「地域アプローチ」による少子化対策の推進 (内閣官房ホームページ)

第2部 「地域アプローチ」による取組の進め方 登壇者紹介

①松田茂樹 教授（中京大学現代社会学部）

自治体における少子化の要因と、「狭義」と「広義」の少子化対策や「地域アプローチ」による取組の重要性など、自治体における少子化対策の考え方について

②京都府宮津市（昨年度モデル自治体）

令和3年度の調査研究事業で実施した「地域アプローチ」による少子化対策の取組の検討プロセスや成果、現在の取組状況について

第2部 パネルディスカッション

- ①「地域アプローチ」による検討プロセスのポイント
- ②部局横断体制の構築
- ③その他

第2部 パネルディスカッション

①「地域アプローチ」による検討プロセスのポイント

- ✓ 広義の少子化対策を検討していくためのデータや現状・課題の把握方法はどのようなものか。
- ✓ 複数挙げられた施策候補の中から、どのように優先順位をつけ、実際の施策化に繋がったのか。庁内の合意はどのように取ったのか。

..... アンケートでご回答いただいた内容

- 人口減少の要因フロー図を作成するための取組を進めてこられた具体的な経緯。
- どのような分析を行えば、合計特殊出生率が低い要因の解明に近付けるのか。
- どのような統計データを活用したか、満足度を図るための統計データは何が最適か。
- 分析・政策立案にあたっての統計の活用方法やエビデンスの活用手法。
- 少子化における課題を明確化し、ターゲットを絞った施策展開の必要性も感じている。統計データや肌感覚で課題はいくつか見えているが、その課題のランク付けをどうしたらよいか。また、見えていない課題を見える化する手法が分からない。
- 広義で検討していくための分析のための情報や、把握方法等。また、他分野や、他の課題を分析することに活かすことができるのか等。
- 「効果の出る少子化対策を行うために、地域特性の何について分析すべきか」を教えてください。

- 行政施策すべてが少子化対策ともいえる。どのように少子化対策に効果的な施策を見つけ出し、優先順位をつけていくのか。
- 見える化を行い、効果的だと判断したうえで、庁内の合意を得たうえで予算化するまでの手続き（担当課との調整など）

第2部パネルディスカッション

②部局横断体制の構築

- ✓ **子育て関係課や子育て関係以外の部局をどのように巻き込んだのか。**
- ✓ **横断体制を構築する際の工夫や注意点はありますか。**
- ✓ **他部局との議論はどのように進めるのか。**
- ✓ **事務局の役割や事務局が分析を進める際の留意点などはあるか。**

..... アンケートでご回答いただいた内容

【他部局の理解促進】

- 少子化対策には、実際は子育て支援以外の施策も重要と分析しており、横断的な取り組みを行いたいと考えているが、子ども関係以外の部署にそれを理解してもらうことができない。（どうしても少子化対策＝子育て支援＝子ども関係の部署というイメージから脱却できず、自分の部署は関係ないとする職員が多い。）このハードルを越えるためには、どのような取り組みが有効か伺いたい。
- 少子化＝人口減少対策とされ、子育て支援課は「生まれた子どもに対して施策を行う課」とされており、協力を得にくいのではないかと心配がある。

【横断体制構築のポイント】

- 横断的な体制をどのように構築していったのか、その流れや具体的な取り組みを知りたい。また、体制を構築する際のコツなどがあれば知りたい。（構成メンバーや中心となる（べき）部署や人物、外部・関係機関との連携、目標設定、ベクトル合わせ）

【横断体制での議論の進め方】

- 横断的な組織体制を整えた後の具体的な議論の進め方についてお聞きしたい。

【事務局における分析の進め方】

- 客観的なデータの分析の考え方、視点、手法はなかなか難度が高いと感じています。一定は事務局が分析を進めていく必要があるのではと感じているのですが、事務局で分析する際の留意点などがあれば教えていただきたいです。

第2部パネルディスカッション

③その他

- ✓ 地域アプローチの実践後、少子化対策の取組・考え方、行政の取組に対する住民の評価に変化はあったか。
- ✓ 自治体は、どのような意識で地域へ働きかけをすれば良いか。
- ✓ 少子化対策を通して、どのような社会を実現する必要があるのか。

アンケートでご回答いただいた内容（抜粋）

- 地域アプローチに着手し実施した後、少子化対策の取り組みに変化が生じたか
- 地域アプローチに取り組む前から実施していた事業，取り組み始めてから新規開始した事業で，特に効果・満足度が高かったもの，住民等から意外な反応があったものがあればご教授お願いいたします。
- どうしても避けられない少子化について、どうしてもマイナス意識が強いが、どういった意識を持って地域へ働きかけるのがよいか
- 人口が減ることを前提とした施策の推進が追いつかず、人口増加策の失敗を嘆くことに終始している感じがあります。少子化対策の本来の意味は、少子化高齢化という相対バランスの中で、どう増やすかではなく、どう適応していくかを考えることと最近は感じていますが、どうお考えでしょうか。
- 昔と比較して、若者の結婚や出産への意識も様変わりしていると感じているが、今後、結婚・出産したい日本（地域）になっていくためには、どこを変えたらよいか。
- 「総域的なアプローチ」は大変重要だと考えております。そのうち、未婚者の支援について、コロナによる婚姻減により出生数が24万件失われたという分析もある（千葉・仲田*）なか、現状は「出会いの場を支援する＝官製婚活」程度が現状で、打ち手を欠いています。独身者の結婚支援に関し、雇用の質など「続・少子化論」で論じられた論点について、いま新たに感じておられるインサイトがございましたらぜひ伺いたく存じます。
<https://www.bicea.e.u-tokyo.ac.jp/policy-analysis-19/>

事務連絡

次回のご案内（予定）

- 第2回は下記のテーマで10月頃に実施します。

第1部 分野別の取組事例

“結婚や出産の支援”に関連する取組

出会いの促進や、妊婦の負担軽減など出産の支援に関する取組

第2部 「地域アプローチ」による取組の進め方

客観データ等に基づく“地域課題の分析”

客観データや主観調査の活用を通じた根拠に基づく地域課題の分析

※各回でお申し込みが必要です。詳細は、後日メールにてご案内いたします。

※内容は変更となる可能性があります。